

# 学力向上推進地域 研究通信

平成 29 年 9 月 7 日  
 (八次中学校区研究推進地域 第 5 号)  
 研究推進教員 八次中学校 豊永政男

第 2 回研究協議会へのご参加ありがとうございました。8 月の小中合同研修会での指導講話の内容とともに、第 2 回研究協議会の内容を以下にまとめていますので、共有していただき、全教科・全職員での研究推進をよろしくお願ひします。

## 8 月 21 日 (月) 小中合同研修会

指導講話 <広島大学大学院教育学研究科 准教授 吉田成章>

○授業改善に向けて

**学習課題**…見たい子どもの姿の具体・固有名

**発問**…子どもの悩み・つまずきの代弁

**評価**…価値のフィードバック

○学力の相互作用的性格 (吉本均)

A = A

≠ B

≠ C

この幅ができるのが授業。B かもしれない。C かもしれない。B でも C でもなく、A である。など

「全員が興味を持てる」という思考軸をやめ、具体的な〇〇に向けた学習課題の工夫をする「一点突破」の視点で課題設定をする。

- ・「正答主義」からの脱却
- ・教師の論理からではなく、子供の方からの発想
- ・目の前の子どもの要求・不満・不安に目を向ける

## 9 月 5 日 (火) 学力向上推進地域 第 2 回協議会

研究協議～各種学力調査の結果から～

(1) 全国学力学習状況調査 平均正答率 (%)

教科	中学校				小学校			
	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
<b>正答率</b>	<b>80.0</b>	<b>72.0</b>	<b>67.0</b>	<b>50.0</b>	<b>75.0</b>	<b>58.0</b>	<b>78.0</b>	<b>40.0</b>
(県平均)	(78.0)	(73.0)	(64.0)	(48.0)	(77.0)	(61.0)	(81.0)	(47.0)
[全国平均]	[77.4]	[72.2]	[64.6]	[48.1]	[74.8]	[57.5]	[78.6]	[45.9]

(2) 「基礎・基本」定着状況調査

①平均通過率 (%)

教科	中学校				小学校		
	国語	数学	理科	英語	国語	算数	理科
<b>教科全体</b>	<b>71.7</b>	<b>62.2</b>	<b>56.9</b>	<b>79.5</b>	<b>68.1</b>	<b>67.8</b>	<b>58.8</b>
(県平均)	(69.2)	(66.9)	(50.8)	(72.4)	(68.0)	(74.3)	(61.7)
<b>タイプ I</b>	<b>73.5</b>	<b>63.8</b>	<b>62.6</b>	<b>81.4</b>	<b>72.2</b>	<b>71.6</b>	<b>70.2</b>
(県平均)	(70.4)	(69.7)	(54.5)	(74.7)	(71.5)	(77.1)	(70.4)
<b>タイプ II</b>	<b>63.7</b>	<b>58.5</b>	<b>48.3</b>	<b>69.2</b>	<b>49.7</b>	<b>55.5</b>	<b>44.8</b>
(県平均)	(64.0)	(57.4)	(45.3)	(59.9)	(52.4)	(65.4)	(51.0)

②30%未満の児童生徒の割合

中学校国語・・・1. 2% (1人)

中学校数学・・・6. 1% (5人)

中学校英語・・・2. 4% (2人)

小学校国語・・・3. 2% (3人)

小学校算数・・・3. 2% (3人)

③生徒質問紙における肯定的回答の割合 (%)

	中学校 (県平均)	小学校 (県平均)
学校の授業の予習をするようにしている	74.4 (41.1)	51.6 (54.8)
自分で勉強の計画を立てている	51.2 (53.0)	59.1 (64.0)

分からないことはそのままにせず，分かるまで努力している	81.7 (75.6)	72.0 (84.1)
授業では，課題解決をするために，進んで，資料を集めたり取材をしたりしている	42.7 (39.9)	39.8 (51.8)
授業では，調べたことなどを，図，グラフ，表などにまとめている	50.0 (53.1)	69.9 (73.7)
授業では，情報を，比べたり（比較），仲間分けしたり（分類），関係を見付けたり（関係付け）して，何が分かるのかを考えている	68.3 (66.0)	72.0 (75.5)
授業では，自分の考えを積極的に伝えている	61.0 (58.2)	51.6 (65.8)
授業では，自分の考えとその理由を明らかにして，相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫している	74.4 (59.4)	51.6 (67.9)
ふだんの生活や学習の中で，これまでに学習した内容や学習の進め方を使っている	81.7 (72.4)	76.3 (81.3)
ふだん，家では，1日1時間以上勉強している	78.1 (53.4)	39.8 (56.0)
国語では，伝えたいことを中心をはっきりさせ，組み立てて文章を書いている	79.3 (72.2)	62.4 (72.6)
算数・数学では，自分の解き方や考え方の説明をノートに書いている	26.8 (56.6)	79.6 (83.3)
英語の授業では，自分の考えや気持ち，事実などを英語で話している	70.7 (60.7)	

（協議で出た意見）

- ・「勉強の計画を立てている」が小中とも低く，勉強に限らず計画的に動くことが難しい実態がある。
- ・家庭学習の質の変化を求める取組が必要である。
- ・授業後では習得できていても，時間が経つと忘れてしまう。→バックアップ・復習の必要性
- ・読書をしない児童生徒の割合が高い。
- ・中間層の児童生徒にアプローチする取組も必要である。

### 指導助言

<広島県北部教育事務所 教育指導課 宮地指導主事>

- ・授業参観では，落ち着いて授業に臨むことができていた。
- ・各種学力調査の結果分析について，経年変化に加え同一集団での変容など多様な視点で行う。
- ・発問の種類や意図，ねらう効果なども含めて協議をする。
- ・効果のあった取組を共有するなど「個別の指導計画」を活用する。

<三次市教育委員会 学校教育課 新谷指導主事>

- ・これまでの取組でよかった点とそうでない点を整理する。→全職員で共有化，焦点化
- ・通過率 30%未満の児童生徒に指導が通ったかどうかなど，丁寧な見取りをする。
- ・家庭教育支援アドバイザーや個別の指導計画を効果的に活用する。

.....  
（今後の日程について）

- 9月 7日（木）第3回研究授業（中学校数学）
- 9月 20日（水）第4回研究授業（小学校算数）
- 9月 29日（金）第5回研究授業（中学校英語）

○1学期に研究授業をされた先生は，評価問題の結果・分析のをお願いします。  
○児童生徒の変容が見られるノートや作品などの成果物の蓄積をお願いします。